

骨シンチグラフィ検査を受けられた方へ

研究のご説明

骨シンチグラフィ検査は骨に集まる放射性薬剤を静脈投与した後、放射性薬剤の集積程度を特殊なカメラ（ガンマカメラ）で撮像することにより、骨の代謝状況（骨吸収と骨形成）を調べる検査です。骨転移など骨代謝の異常を生じる病態を診断します

骨シンチグラフィ検査では、集積の強さを評価するstandardized uptake value (SUV) という指標が新たに用いられています。本研究では、SUV算出式に用いる体積に体重や除脂肪体重、骨ミネラル量等の指標を用いることでSUVにどう影響するか検討することを目的としています。骨シンチグラフィ検査の臨床データを用いた後ろ向き研究(今までの画像のデータを解析する研究)を実施します。

【研究の概要】

研究題名：骨シンチグラフィにおけるstandardized uptake value算出時の正規化に関する検討

研究期間：医学部倫理委員会承認後から 2025年 3月 31日

実施責任者: 高知大学医学部附属病院放射線部 林 直弥

【対象となる方】

2018年 3月以降に高知大学医学部附属病院で骨シンチグラフィ検査および骨密度撮影検査を受けられた方

【研究の意義】

SUVは本検査において大変重要な定量値です。

本研究はSUVの精度の向上に寄与し、ひいては診断精度を高めることにつながると考えられます。

【研究の目的】

骨シンチグラフィ検査におけるSUV算出に適した体積の指標を検討すること

【研究の方法】

これまでの検査でカルテに保存されているデータを収集、使用して行う研究です。本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。この研究は、ヘルシンキ宣言および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守します。

【費用について】

新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】

該当する方の検査結果には全く影響を与えません。また、不利益を受けることもありません。さらに、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益をこうむることはありません。

【データの収集について】

本院で収集されたデータおよび個人情報は匿名化を行い、2030年3月31日まで厳重に保存し、その後ファイルを処分いたします。

【個人情報の保護について】

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

【データの二次利用について】

本試験で得られたデータについては、倫理委員会の審査を経て承認された場合に限り、個人識別情報とリンクしない形で二次利用することがあります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、2025年3月末までに以下にご連絡下さい。

【問い合わせ等の連絡先】

高知大学医学部附属病院放射線部 林 直弥

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮185-1

TEL:088-866-5811_